

オーガニックワイン普及へ団体 ブドウ無農薬栽培 支援

産学官 22日に設立

県や山梨大、民間企業などは22日、無農薬で栽培されたブドウで醸造した「オーガニックワイン」の普及に向け、推進団体を設立する。世界の市場ではオーガニックワインの需要が拡大しており、県内で生産量を増やす狙いがある。セミナーを通じて、無農薬栽培を目指す農家やオーガニックワインを醸造するワイナリーを支援する。

団体は「山梨オーガニックワイン推進コンソーシアム」。山梨大のほか、農業へのICT(情報通信技術)活用などを推進する民間企業「シー・シー・ダブル」(CCW、東京)や山梨中央銀行などが構成団体となる。オーガニックワイン造りを組織的に支援するのは全国初という。

団体は県内の農家やワイナリーなどを対象に、無農薬や減農薬栽培のメリットなどについて説明するセミナーを開催する予定。温度や湿度を計測し不要な農薬散布を減らす

山梨経済

農家とワイナリー計30者以上に無農薬栽培やオーガニックワイン造りに取り組んでもらうことを目指す。

設立事務局によると、世界のワイン市場では、農業の環境への影響を考慮してオーガニックワインの需要が高まっており、国内でも輸入ボトルワインの約1割を占める。世界的な流行に合わせ、県内でもオーガニックワイン造りの取り組みを広め、県産ワイン

〈山本昂輝〉

ネット販売で地域賞

笛吹の企業 天然石発信に工夫



天然石などを扱うインターネットショップ運営の「midi(ミディ)」(笛吹市石和町井戸、望月賢司社長)は、創意工夫を凝らしたネットショップを発掘して表彰するコンテストでトロフィーを受け取るmidiの担当者

東京都内

の付加価値の向上や国内外での需要拡大につなげる。22日は甲府市内で設立総会を開き、構成団体の代表者らで国内外のオーガニックワインの試飲などを行う予定。設立事務局の担当者は「国内ではオーガニックワインの醸造に取り組みワイナリーはまだ少ない。県内はもろろんだが、日本のワイン産業全体の発展につながる活動にしたい」と話している。

表彰した。midiによると、同社が2006年から運営しているネットショップ「天然石卸kenkenengems.com」では、世界各国で加工、生産した高品質な天然石や宝石、オリジナル商品など約2万7千点を展開。天然石にまつわるコラムの掲載や、交流サイト(SNS)での発信、北米や欧州などの海外への販売にも力を入れている。GMOペパボは「天然石の卸売りネットショップとして長年支持され、動画を活用した分かりやすい商品紹介や、複数のSNSの積極的運用などが受賞の決め手となった」としている。

5月24日には東京都内で授賞式が行われた。midiの担当者は「受賞はありがたい。今後も電子商取引(EC)サイトでの販売に注力し、県内の人にも広く知ってもらえるようにしていきたい」と話した。〈土屋真佑子〉

水素製造巡り 県と東電が協定

余剰電力活用へ検証

用を目指す枠組みという。甲府市の米倉山の電力貯蔵技術研究サイト内で、秒や分単位で変動する電力需要のパターンにP2Gシステムが対応できるかを検証する。調査期間

電事業者などに、一時的に発電停止を求めるケースがある。発電量の調整が難しい太陽光や風力発電などは今後増える見込みで、東京電力管内でも今後、供給バランスが崩

社長、エナジープールジャパンの市村健社長が合意書にサイン。長崎知事は一調査を通して、P2Gシステムが電力の需給バランスの調整と再生エネの主力電源化に貢献すること

ベトナムキッチン 笑多家 (ベトナム料理店)

所在地 甲州市塩山下於 首1538

電話 090(1652)6868

情報をお寄せ
電話番号、営業
1200字程度
りください。